

令和3年度 三井 病院指標

[医療法における病院等の広告規制について（厚生労働省）](#)

- [1. 年齢階級別退院患者数](#)
- [2. 診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
- [3. 初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数](#)
- [4. 成人市中肺炎の重症度別患者数等](#)
- [5. 脳梗塞の患者数等](#)
- [6. 診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）](#)
- [7. その他（D I C、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）](#)

年齢階級別退院患者数

年齢区分	0～	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～
患者数	9	38	52	76	169	251	280	555	651	246

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。

人数を10歳刻みの年齢階級別に集計しています。

全体退院患者数は2327名で、そのうち60歳以上が1732名、59歳以下が595名となっております。

前年度と同じく60歳以上の患者様が占める割合が7割を超えており、症状が比較的重症になりやすい高齢者の入院が多い傾向にあります。

診断群分類別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

■ 内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
040081XX99X0XX	誤嚥性肺炎 手術なし 処置2なし	66	24.939	20.574	28.788	87.303	
110310XX99XXXX	腎臓又は尿路の感染症 手術なし	66	17.727	13.143	13.636	79.712	
060100XX01XXXX	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む) 内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術等	54	2.054	2.653	0.000	64.557	
030250XX991XXX	睡眠時無呼吸 手術なし 終夜睡眠ポリグラフィ(1及び2以外)	33	2.000	2.034	0.000	48.030	
050130XX9900XX	心不全 手術なし 処置1なし 処置2なし等	22	20.545	17.345	18.182	86.727	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について、患者数・平均在院日数・転院率・平均年齢を上位5についての集計しております。

当院の内科は、呼吸器、代謝内分泌、循環器など総合診療科で治療を行っており、大腸ポリープに対する内視鏡的手術や睡眠時無呼吸症候群の検査入院など、短期の入院にも力を入れております。

肺炎・誤嚥性肺炎、尿路感染症の患者も多く、平均年齢が80歳以上と高い傾向にあります。

様々な肺炎や尿路感染症などに対し抗生物質による薬物療法を行っております。

呼吸器疾患に対し、呼吸器リハビリテーションも行っております。

■ 整形外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
160800XX01XXXX	股関節・大腿近位の骨折 人工関節置換術等	98	26.939	25.321	75.510	80.745	
160690XX99XXXX	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む) 手術なし	43	21.186	19.345	74.419	82.093	
070230XX01XXXX	膝関節症(変形性を含む) 人工関節置換術等	37	22.378	23.018	13.514	74.838	
07040XXX01XXXX	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む) 人工関節置換術等	36	22.194	20.627	2.778	66.861	
160690XX02XXXX	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む) 経皮的椎体形成術	20	25.550	18.582	45.000	83.200	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について、患者数・平均在院日数・転院率・平均年齢を上位5についての集計しております。

当院では、令和4年4月より頸部骨折調査データベースに参加しており、月に一度症例報告を行っております。

大腿、股関節、膝関節、脊椎、腕の外科疾患及び外傷性疾患を高い専門性をもって治療にあたっています。

最も多い疾患は大腿骨近位端骨折で、原因として高齢者の転倒によるものが多く、手術後にリハビリを行うため、回復期リハビリ病院や療養型病院等へ転院される方が多くあり、地域連携クリニカルパスを使用し、より良い医療を患者様に提供するために、他医療機関・施設と連携を図り治療にあたっております。

また、変形性関節疾患に対する人工関節置換術(膝・股)では質の高い関節外科治療を提供しており、術後早期よりリハビリテーションを開始し、早期退院、早期社会復帰が可能となるよう治療を進めております。

■ 眼科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者用 パス
020110X X97X X X 0	白内障、水晶体の疾患 手術あり 片眼	20	3.000	2.713	0.000	75.750	
020400X X97X X X X	眼、付属器の障害 手術あり	-	-	8.149	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について、患者数・平均在院日数・転院率・平均年齢を上位5についての集計しております。

眼科の入院はほぼ全て手術目的の入院です。

最も多いのは白内障の手術で、外来でも日帰りで治療する事は可能ですが、ご高齢の方や糖尿病など管理が必要な病気のある方には入院での治療を勧めております。

■ 泌尿器科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
110070X X 03X0X X	膀胱腫瘍 膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用等 処置2なし	22	6.727	7.021	0.000	71.591	
110080X X 991X X X	前立腺の悪性腫瘍 手術なし 前立腺針生検法	22	2.000	2.501	0.000	71.909	
11012X X X 020X0X	上部尿路疾患 経尿道的尿路結石除去術等 副傷病なし	10	4.000	5.560	0.000	66.400	
11022X X X 01X X X X	男性生殖器疾患 鼠径ヘルニア手術等	-	-	3.772	-	-	
11013X X X 04X X X X	下部尿路疾患 膀胱結石、異物摘出術 経尿道的手術等	-	-	5.456	-	-	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について、患者数・平均在院日数・転院率・平均年齢を上位5についての集計しております。

患者数が10未満の数値には「-」としています。

前立腺癌の疑いがある場合に行う前立腺針生検の検査入院が最も多く、早期発見に努めております。

他にも尿路、膀胱、陰茎、精巣関連などの手術を多く行っております。

泌尿器の悪性腫瘍(前立腺がん、膀胱がん、腎盂がん等)に対しては、手術及びホルモン療法、化学療法を行っております。

■ 消化器外科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
060150 X X 99 X X 0 X	虫垂炎 手術なし 副傷病なし	27	9.185	7.313	3.704	46.296	
060210 X X 99000 X	ヘルニアの記載のない腸閉塞 手術なし 処 置1なし 処置2なし 副傷病なし	25	9.000	8.998	0.000	69.200	
060160 X 001 X X X X	鼠径ヘルニア 15歳以上 鼠径ヘルニア手術 等	23	4.739	4.742	0.000	64.478	
060335 X X 99 X 00 X	胆嚢炎等 手術なし 処置2なし 副傷病なし	19	14.105	10.935	0.000	69.000	
060335XX02000X	胆嚢炎等 胆嚢摘出術等 処置1なし 処置 2なし 副傷病なし	16	6.875	7.113	0.000	53.188	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について、患者数・平均在院日数・転院率・平均年齢を上位5についての集計しております。

昨年に比べ当院は、虫垂炎 手術なしの患者が増加傾向になっており、外科的手術も行っておりますが、抗生剤等の保存的治療が多い結果になっております。

上下消化管、肝臓、胆膵の消化管疾患全般に幅広く対応しています。

手術においては、開腹手術はもとより腹腔鏡下での手術も積極的に従っており、病状により患者様の意思を尊重し、手術ではなく保存的治療も行っております。

腹腔鏡手術によって傷を小さくし、術後の回復が出来るだけスムーズに進むよう心がけておりますが、強い炎症癒着などで腹腔鏡操作が難しい場合には、開腹手術を行っております。

■ 乳腺腫瘍科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用バ ス
0900010 X X 010 X X X	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房 切除術等 処置1なし	65	12.308	10.149	0.000	60.323	
0900010 X X 04 X X X X	乳房の悪性腫瘍 ゲル充填人工乳房を用い た乳房再建術等	10	17.100	8.104	0.000	52.500	
090020 X X 97 X X X X	乳房の良性腫瘍 手術あり	-	-	4.104	-	-	
090010 X X 02 X X X X	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房 部分切除術(腋窩部郭清を伴わない)	-	-	5.878	-	-	
090010XX011XXX	乳房の悪性腫瘍 乳腺悪性腫瘍手術 乳房 切除術等 骨移植術等	-	-	15.310	-	-	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について、患者数・平均在院日数・転院率・平均年齢を上位5についての集計しております。

患者数が10未満の数値には「-」としています。

乳腺疾患の代表である乳房の悪性腫瘍疾患の患者様を中心に、乳腺炎や良性腫瘍などの乳腺疾患全般、甲状腺の良性・悪性疾患に対する診断や治療を積極的に行っております。

診断から手術、化学療法及び治療後の経過観察まで一貫して従っており、集学的治療の有無について納得がいくまで説明をさせていただきます。

平成28年11月から遺伝子検査や遺伝子カウンセリングを行う遺伝カウンセリング外来を開設し、患者様にあったより良い対処法を選択する手助けをしております。

平成30年9月から女性医師が常勤医として勤務しており、女性の患者様に更に安心して治療していただけるように努めております。

■ 腫瘍内科

DPCコード	DPC名称	患者数	平均 在院日数 (自院)	平均 在院日数 (全国)	転院率	平均年齢	患者 用パス
090010 X X 99 X 4 X X	乳房の悪性腫瘍 手術なし シクロホスファミ ド+塩酸エピルビシンあり等	17	3.000	3.937	0.000	57.941	
090010XX99X8XX	乳房の悪性腫瘍 手術なし パージェタ	-	-	4.212	-	-	
070040XX99X0XX	骨の悪性腫瘍(脊椎を除く) 手術なし 処置 2なし	-	-	9.708	-	-	
06007XXX9900XX	膵臓、脾臓の腫瘍 手術なし 処置1なし 処 置2なし	-	-	10.881	-	-	
040050XX99X0XX	胸壁腫瘍、胸膜腫瘍 手術なし 処置2なし	-	-	13.721	-	-	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について、患者数・平均在院日数・転院率・平均年齢を上位5についての集計しております。

患者数が10未満の数値には「-」としています。

腫瘍内科は、がんに対する薬物療法を行う「抗がん剤治療」の専門診療科です。

化学療法は外来通院が中心ですが、初回の化学療法や患者様の病態に合わせて入院加療も行います。

抗がん剤治療には様々な副作用が伴いますが、適切な支持療法を行い、日常生活が支障なく送れるよう心掛けています。

当院では、乳腺悪性腫瘍や他の悪性腫瘍に対しての治療として入院される方が多くいます。

初発の5大癌のUICC病期分類別並びに再発患者数

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	5	1	-	1	12	1	1	8
大腸癌	6	5	4	18	11	7	1	8
乳癌	31	46	14	1	7	9	1	8
肺癌	-	-	1	4	5	2	1	8
肝癌	1	-	-	-	1	1	1	8

※ 1: UICC TNM分類, 2: 癌取扱い規約

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。

患者数が0の数値には「-」としています。

5大癌とは、胃癌・大腸癌・乳癌・肺癌・肝癌のことを表します。

ステージ(Stage)とは、がんの深さや広がり(T)、リンパ節転移の有無(N)、多臓器への浸潤・転移の有無(M)などによって決定されます。

0~IVに分類され、ステージIが進行度が低くステージIVが最も進行した病気分類となります。

Stageが「不明」の症例は、退院までに検査結果が明らかでないものも「不明」件数に含まれています。

胃癌ではStage Iが占める割合が多くなっていますが、早期癌に対する内視鏡的治療などを積極的に行っていることが理由に挙げられます。

成人市中肺炎の重症度別患者数等

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
軽症	0	-	-
中等症	50	19.740	77.720
重症	37	20.189	82.757
超重症	9	26.444	85.556
不明	0	-	-

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。
市中肺炎とは、病院や施設外で日常生活をしていた人が発症した肺炎。
軽症の場合は外来治療が基本となりますが、昨年度に比べ当院では重症・超重症が増加傾向にあります。
重症度において年齢が高いほど重症化しやすい傾向にあります。
患者様に先天性疾患やがんの既往があったりした場合、比較的症状が軽いケースでも重症化する恐れがある場合は入院となることもあります。

脳梗塞の患者数等

発症日から	患者数	平均在院日数	平均年齢	転院率
3日以内	45	23.539	81.526	48.077
その他	-	-	-	-

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。
救急で搬送される患者様も多く、常に受け入れることが出来るように体制の確保に努めております。
地域連携クリニカルパスを使用し、回復期リハビリ病院、療養型病院、介護施設等と連携し総合的な治療管理を行っております。
「3日以内」「その他」の片方が10件未満で、「3日以内」と「その他」を合計して10件以上になる場合、分けずに合計した数値を記載しております。

診療科別主要手術別患者数等（診療科別患者数上位5位まで）

■ 内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K7211	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（直径2cm未満）	80	0.297	1.019	0.000	64.648	
K7212	内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術（直径2cm以上）	10	0.200	1.000	0.000	65.000	
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術（早期悪性腫瘍胃粘膜）	-	-	-	-	-	
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	-	-	-	-	-	
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨）	-	-	-	-	-	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。
患者数が10未満の数値には「-」としています。
大腸のポリープに対する内視鏡的手術が最も多い症例で、入院当日の手術で翌日退院する1泊2日入院が基本ですが、前処置の為前日からの入院も受け入れております。
病変が早期の段階での治療に努めています。
他にも、早期胃がんに対する手術、胆道疾患における結石の除去・ステント留置等の手術を多く行っております。

■ 整形外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K0821	人工関節置換術（肩）	79	1.430	20.114	11.392	70.684	
K0461	骨折観血的手術（肩甲骨）	60	4.417	16.800	60.000	79.233	
K0811	人工骨頭挿入術（肩）	53	5.585	21.170	75.472	80.264	
K0462	骨折観血的手術（下腿）	35	1.829	5.143	0.000	62.629	
K142-4	経皮的椎体形成術	20	4.800	18.400	35.000	82.050	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。

患者数は、1回の入院で複数(両側等)の手術を行った場合は主の手術1つのみカウントされています。

1位：大腿骨近位端骨折や関節の変形が原因の変形性股関節症・膝関節症に対し、人工関節置換術を多く行っています。

2位：K0461骨折観血的手術には大腿・上腕・肩甲骨の合算症例件数となっております。

骨折や変形の具合により、自家骨移植や人工骨移植を行っており、骨折観血的手術後には、骨折治癒を促進する超音波骨折治療法を積極的に行ってまいります。

3位：人工骨頭挿入術(股)は大腿骨頸部骨折に対して行ってまいります。

術後には、早期にリハビリテーションを実施し、1日も早い回復が望めるよう理学療法士をはじめ、医師・看護師と連携を取り、チーム医療を行っております。

長期のリハビリが必要とされる場合は、回復期リハビリ病院や療養型病院等へ転院されております。

■ 眼科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K28210	水晶体再建術（眼内レンズを挿入）（その他）	56	1.000	1.036	0.000	76.875	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。

眼科では、白内障手術(水晶体再建術(眼内レンズを挿入する場合))が最も多く、短期間の入院で、片側ずつ手術を実施しております。

■ 泌尿器科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K80360	膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（その他）	38	1.000	4.842	0.000	72.026	
K7811	経尿道的尿路結石除去術（レーザー）	14	1.000	2.357	0.000	66.929	
K8282	包茎手術（環状切除術）	-	-	-	-	-	
K783	経尿道的尿管狭窄拡張術	-	-	-	-	-	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	-	-	-	-	-	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。

患者数が10未満の数値には「-」としています。

経尿道的膀胱悪性腫瘍手術は、早期に発見された浸潤性でない膀胱がん患者に対して行っています。

上記手術の他に、経尿道的尿路結石・膀胱結石除去術などは、クリニカルパスを使用し短い期間で退院しております。

包茎手術は、小児から成人まで幅広く手術を行っております。

■ 消化器外科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む）	49	11.344	16.966	43.162	82.217	
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	30	1.033	4.833	0.000	55.900	
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）	23	1.391	2.261	0.000	64.522	
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	13	10.769	15.308	0.000	69.692	
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術（虫垂周囲膿瘍を伴わないもの）	12	1.000	3.167	0.000	36.917	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。

腹腔鏡を用いた手術が上位を占めており、開腹で行う手術と比べ、傷が小さく患者さんの負担も少ないため早期退院が可能で、早期の社会復帰が見込まれます。

良性・悪性にかかわらず腫瘍性疾患に対して、腹腔鏡を用いた低侵襲手術に積極的に取り組んでいます。

鼠径ヘルニアや胆嚢摘出術等はクリニカルパスを用い、治療の過程を明確にして、安全で合理的な医療の提供を行えるように努めております。

■ 乳腺腫瘍科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K 4765	乳腺悪性腫瘍手術（乳房切除術・胸筋切除を併施しない）	32	1.906	11.813	0.000	59.406	
K 4764	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴う））	29	1.897	6.759	0.000	61.069	
K 476-4	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	11	1.000	14.455	0.000	50.818	
K 4741	乳腺腫瘍摘出術（長径5cm未満）	-	-	-	-	-	
k 6762	乳腺悪性腫瘍手術（乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わない））	-	-	-	-	-	

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。
 患者数が10未満の数値には「-」としています。
 乳癌の病態、進展度、腫瘍径などにより、乳房の温存、腋窩リンパ節郭清の省略を図る各種の術式を行っています。大きな腫瘍に対して腫瘍の縮小を目的に術前に化学療法を行い、乳房を温存する治療も行っております。
 同時乳房再建も年々増えており、当院では平成30年6月からは二期再建も可能となりました。
 患者様の病態やニーズに合わせ、複数の選択肢の中から最も適した治療法を提案しております。

その他（DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率）

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	0	0.000
		異なる	7	0.301
180010	敗血症	同一	1	0.043
		異なる	12	0.516
180035	その他の真菌感染症	同一	0	0.000
		異なる	0	0.000
180040	手術・処置等の合併症	同一	8	0.344
		異なる	1	0.043

令和3年4月1日から令和4年3月31日までに退院した患者様について集計しております。
 重篤な疾患である播種性血管内凝固症候群(DIC)、敗血症、その他の真菌症感染について、発生率を集計しています。
 これらは重篤な主疾患の合併症として発症しているケースが多いため、臨床上ゼロにはなりえないものですが、
 起こり得る合併症については、事前に可能な限りに患者様に説明した上で同意をいただき、発症が最小限になるように努めております。

更新履歴

2022.9.26 2021年度病院指標を公開しました。